

# 標十五句

松岡隆子選

ゆふぐれの色を足しゆく鴨の水  
忌ごもりと言へどあれこれ年の暮  
身に入むや地球老ゆるといふことも  
二階より見ゆるものふゆ枇杷咲いて  
白粉花や更けてコンビニまでの用  
小鳥来る庭のもつとも明るい木  
余生なほ混沌として冬の霧  
回転木馬秋ゆつくりと去りゆける  
すでに晩秋白波の尖りたる  
秋冷の及ぶ湖面のゆるびなく  
たまさかに寄りし天神菊まつり  
川波のきらめき鴨の数見えず  
子規のゐて漱石もゐて伊予小春  
慣れといふ言葉しみじみ小六月  
山川は神の領域草の花

峰岸よし子  
加藤暢一  
川上昌子  
濱地恵理子  
下平直子  
渡辺あつ子  
鈴木綾  
日置榮子  
中嶋孝子  
内山けい子  
石崎章子  
北村敦子  
東條恭子  
中島紀子  
藤田幸子